

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	36	ご利用者との関わりの中で、信頼関係の構築と共に慣れも生まれてきている。信頼関係の構築と、馴れ合いの関係となる接し方の違いについて、考える必要がある。	・ご利用者中心のケアという意味、職員の立場、について改めて全体で理解を深め、実践すること	ご利用者中心のケア、認知症の人への理解、職員としての心構え、を中心とした『接遇研修』『認知症研修』などを年間を通じて受講、又は職員会での研修会(抄読会、事例検討など)を行う。それを通し、職員としての姿勢や考え方を学び、意見交換をする中で、自身の振り返りの場として接遇に対する認識を深め、ケアの質の向上に繋げる。	12ヶ月
2	23	平均介護度が上がり、ご利用者への身体的介助が増えていく中で、それを中心に1日が動いている現状がある。介護度に応じた個別の楽しみや生きがいを感じられる生活が必要。	・ご利用者一人ひとりの日常生活や思いに目を向け、ご利用者が生きがいや楽しみを感じられる生活支援に取り組む	利用者担当者を中心に、ご本人やご家族、必要時には知人等から、改めてご利用者の『趣味、嗜好』『過去の生活』等の情報をお聞きする。同時に、信頼関係作りへの配慮もしつつ、話しやすい雰囲気作りに取り組む。日常の中で折りにふれ、ご利用者にお話しを聴き、来所時には、ご家族等にお聴きする。過去の情報と合せ集約し、職員間で共有を図る。それをもとに、ご利用者、ご家族と共に、生きがいや楽しみを見つけていき、実践に繋げていく。毎月の職員会にて、進捗状況を確認、検討し、進めていく。	12ヶ月
3	20	重度化に伴い、身体介助量の増加と共に、お出掛け等の地域との交流の機会が少なくなっている。施設へ招くなどの、地域交流も含め、それぞれのご利用者に合った交流のスタイルを考えていくことが必要。	・地域との内外での交流を増やし、社会との繋がりをつくる	地域資源を知り、ご利用者の精神・身体状況を把握し、個々の状態に応じた現在可能な内外の交流活動等を検討、実行する。今までGHで行ってきた内外の交流活動も継続しつつ、地域の行事や認知症カフェなどの活動にも参加することにより、地域との新たな関係作りを模索、展開を考えていく。行事等の情報は、運営推進会議の場や地域のコミセン情報などを活用し、全職員で多くの情報を集めていく意識を高めていく。会や行事に参加した際の、感想や出来事などを随時ミーティング等で発表し合い、今後の交流活動に繋げていく。	12ヶ月
4	25	ご利用者の身体的介助が増えていく中で、身体機能や筋力の低下がみられる。日常生活の中で、一人ひとりに合った身体機能の維持、強化へのアプローチが必要。	・ご利用者の身体機能と筋力の維持、または強化のための個別目標を明確化する	『ご利用者のIADLの向上と生きがいに繋がること』を目標に、計画作成担当者と利用者担当職員を中心に、個々のご利用者の計画を立案する。毎日のAM・PMの活動プログラムの時間を活かし、「だんだん」(B型就労支援事業所)の方たちと協働し、個に応じた軽運動(10分間程度の)を考え実践する。毎月の職員会の中で振り返り、中間評価を行い、次の目標、課題を話し合う。その決定事項を「だんだん」と情報共有をしながら行う。	12ヶ月
5	26	それぞれの専門知識を持った職員が揃い、意識も高まってきている。各々の知識や能力を活かし、チームに貢献していく流れが必要。	・介護、医療、それぞれの専門性や立場を尊重し合い、協働してチームケアを実践する ・それぞれの専門知識を高め、スキルアップを目指し、チームで共有する姿勢を持つ	職員は、専門的研修や自身に必要な研修などを、研修委員が発信する情報や、その他の研修情報から積極的に情報収集し受講の機会を作る。管理者は、職員が希望する研修を総合的に判断して、年間計画に反映する。業務上、又は自己研鑽において、学びを深めたものを職員会等の場で報告し、共有し合う。 チームケアという観点を理解したうえで、どの知識をどのように生かしていけるのかを考え、お互いに尋ね、伝え合い、活発に意見交換が出来るような土壌を作っていく。 ケアマネージャーを中心にケアプランを作成していくなかで、ご本人やご家族の意見を尊重しながら、新たな知識や自己の専門性も反映できるよう、毎月の職員会等で気持ちや意見をあげることや掛付け、プランに活かし実行できるようなチームで検討を重ねる。	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。